

救急通報をしたあとに…

救える命を救うためには、**応急手当**が重要です。
 応急手当が必要な場合は、消防局から電話で指示されます。

救急車が到着するまではどうしても時間がかかります。
 いざというときに、大切な方を救うためにも、**正しい応急手当**を身につけておきましょう。

心肺蘇生ができれば
実施してください。



平均9.9分
(令和3年)



お近くの消防署では**応急手当の講習**を行っています。
 消防署へお問い合わせください。



浜松市ホームページ

応急手当をしている人以外にも
 人手がある場合は、
玄関先などに案内に出ると
 到着が早くなります。

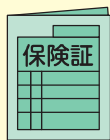


こちらです!

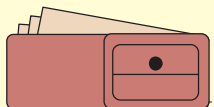


救急車を呼んだら、**こんな物を用意しておく**と便利です。

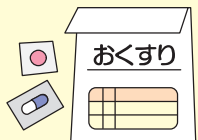
- ・ 保険証や診察券
- ・ お金
- ・ 靴
- ・ 普段飲んでいる薬
(おくすり手帳)



靴



お金



普段飲んでいる薬

- (乳幼児の場合)
- ・ 母子健康手帳
 - ・ 紙おむつ
 - ・ ほ乳瓶
 - ・ タオル



紙おむつ



ほ乳瓶



タオル

救急車が来たら、**こんなことを伝えて下さい。**

- ・ 事故や具合が悪くなった状況
- ・ 救急隊が到着するまでの変化
- ・ 行った応急手当の内容
- ・ 具合の悪い方の情報
(持病、かかりつけの病院やクリニック、
普段飲んでいる薬、医師の指示等)
- ・ 高齢者の方は「**あんしん情報キット**」を
救急隊にお渡し下さい。



*持病、かかりつけの病院や
 クリニックなどは、日頃から
 「あんしん情報キット」やメモに
 まとめておくと便利です。